

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 6 年 1 月 31 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104849		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホームかぐや姫		
所在地	広島市東区尾長東2-6-6 (電話) 082-209-1158		
自己評価作成日	令和5年12月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104849-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和6年1月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①2つのユニットが行き来できる為ご利用者様が多くのご利用者様との会話を楽しまれる環境である。</p> <p>②運営推進会議にはしっかりと時間を設けお茶を飲みながら意見交換ができています。</p> <p>③2ヶ月に1回程度ご利用者様のお写真を送っている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>かかりつけ医以外の医療機関に受診する場合、家族が同伴しているが、必ず職員も同行し、普段の様子や変化等を直接、医師に報告している。医師からの医療情報は家族と共有し適切なケアに繋げている。運営推進会議は、家族が参加できる季節行事と同日に開催し、一方的な報告や連絡にならないよう職員は和やかな雰囲気作りに努め、家族や多方面からの情報や意見交換が出来るよう工夫をしている。「相手本位の心」で共に過ごす中、自然なコミュニケーションをとりながら一人ひとりの思いに寄り添っている。身体拘束をしないケアの研修を続け、状況の変化に応じて本人の気持ちや人権を守る事を優先し、現時点での最善の方法を職員間で話し合っている。看取りケア時には、相手本位の心で好きな曲を流し最期まで利用者の手を握る等、常に尊厳を大切に支援に努めている。</p>

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「相手本位の心」が事業所の理念である事を職員全員が理解し、それに沿って何をすべきかミーティング等で取り上げている。	事業所理念は、月に1度実施する2ユニット合同で実施するミーティングの中で、職員から提起される具体的な意見に対して方向性を指し示すことで共通の理解ができるように工夫している。職員主体の価値観を利用者に押し付けたり、業務を中心に行動しないように気を配っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域住民との交流を深めるためもあり、週一回施設回りを掃除し、地域の方からも声をかけて頂いている。	法人が主体となり、定期的に町内の清掃活動を実施している。コロナ禍でも町内会長と連絡をとり、これまで築いてきた関係が途切れないように努めている。近隣に同一法人が運営する様々なサービス形態の事業所が所在し、事業所が協力して地域課題の解決に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍も落ち着いてきたため、町内会長へ連絡し町内会に参加する事を伝えている。回覧板は毎日届けて頂いている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は現在再開しており、地域包括支援センターからも参加して頂き報告やご意見等を頂き、改善できる事は職員間で話し合い、取り入れている。	運営推進会議は、家族が参加できる季節行事と同日に開催している。職員は和やかな雰囲気作りに努め、家族や多方面からの情報や双方向の意見交換が出来るよう工夫をしている。食に関して利用者の嗜好に合わせた食品の提供を反映した実績がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	生活保護に関する問い合わせが多くあり、確認のため市町の生活課に連絡を取っている。	地域に所在する同一法人の他事業所と協働し、生活保護受給者を受け入れるために、これまでに何度も生活課担当者と連絡を取り、費用の確認を行ってきた。地域包括支援センターの職員とは運営推進会議で同席し顔が見える関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	一名ご利用者様の拘束を行っている。ご自分の服等、口にあたる物すべてを口に入れられるため、家族様に説明し同意書を頂いている。定期的に委員会を開き、その都度議事録を作成している。	身体拘束について、3ヶ月に1度委員会を開催し、医師の意見をもとに、利用者の現身体特性や習性を観察しながら、家族、職員間で最適な方法を検討している。ベッドから降りてしまう可能性が高い利用者には、行動を抑制せず床にマットレスを敷き怪我がないように対策を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関する研修は社内で年に2～3回は行っている。職員が参加しミーティングで報告し共有している。	/	/
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	入居される際の契約に成年後見人を立てておられる事があり、後見人制度を学ぶ事も必要のため、ミーティング等で話し合う様に心掛けている。	/	/
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、ご家族様が不安や疑問に思っている事があれば説明し、理解と納得して頂いた上で契約して頂いている。	/	/
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に参加された際、貴重なご意見をご家族様に頂いた内容は、職員で共有し業務に活かした事もある。	家族の意見は、運営推進会議や面会時に聴取し、利用者意見は日常的なコミュニケーションの中で職員が引き出している。感染症の予防を十分に行い、家族と外出や外泊、年始に自宅へ2泊する等の利用者、家族の要望が実現している。	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1度のミーティングや年2回の個人面談の際に、職員の意見を聞く機会がある。それ以外にも随時時間を設けて、聞ける様な関係性を築いている。</p>	<p>定期開催しているミーティングでは、職員一人ひとりを指名して意見を表出する機会を設けている。業務手順の見直しや利用者の介助方法などの意見は、否定せず採り入れ試行している。職員が主体となり協議して決定したことを実行できるように管理者が支援している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>随時個々の思いや考えを聞いて働きやすい環境に近づけるように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>全職員がシフトの状況に応じて、社内研修に参加した後、ミーティング時に内容報告している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>電話やファックスで入居に関する情報も含めて交流を深めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居されて間もないご利用者様は、不安と緊張感でいっぱいのため、職員はしっかりと傾聴できる様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用者様が安心して入居できる様に、ご家族様からの要望、ご本人様からの希望に答えられる様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族様、ご本人様が何を希望されているか、職員、看護師、ケアマネと話し合い、できる事は実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様と職員と一緒に生活しているとの思いを持ち、笑いの絶えない関係性を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様とは良好な関係であるために、面会に来られた時は笑顔で挨拶し、又は近況報告も定期的にご連絡して、ご家族様との絆を深める様に努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>働いていた時の同僚の方やご近所の方が面会に来られ、懐かしんで話をされている関係性が途切れない様に支援に努めている。</p>	<p>利用開始前に親交があった自宅の隣近所の方や、職場の関係者の面会があり、交流が継続している。自宅に宿泊し家族と過ごす等、馴染みの人や場所と関係が途切れないように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	デイルームでご利用者様が一緒に洗濯物をたたみながら、会話をされる時には、笑い声も聞こえたりと、その人その人にできる事をして頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設へ行かれたご利用者様の状況を聞いたり、又は面会に行ったりしている。時には、ご家族様から連絡を頂いたりしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様から希望や意向を生活していく中で、さりげなく職員に発言して頂ける様な関係性を築いている。	利用者一人ひとりに担当職員を配置し、日々の暮らしの中で利用者とのコミュニケーションを取りながら、笑顔が見えた話題や好みのお茶の温度など状態や様子を観察している。収集した情報から、利用者が暮らしの中で大切にしていたことを実現できるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活歴を把握し職員間で共有している。できるだけ生活環境を変えず、その人らしく生活して頂く様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様の状態は毎日同じではない事を常に思い、気づきがあれば共有し、すばやく行動にうつしている。		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご利用者様の状態も踏まえ、ご家族様の思いや意向を聞き、看護師、ケアマネ、管理者、担当で介護計画を作成している。定期的にモニタリングし見直している。	介護計画は、利用者のその時の状態を家族が書面で確認できるように、詳細に記載している。担当職員と介護職員、看護師、介護支援専門員が作成に関わり、残存機能維持や、利用者の役割、楽しみを盛り込んだ計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ご利用者様の変化に気付いたら職員間で共有し、対応や介護計画書の見直しを実施している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その都度生まれたニーズは、その都度話し合い対応できる体制作り努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の方との挨拶は常に心掛けている。週1回ではあるが町内を掃除し、声掛けする様に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご利用者様、ご家族様の意向で入居前の病院に受診を希望される際は事業所の主治医に報告し、意向に添う様になっている。	協力医療機関の医師による訪問診療と訪問歯科診療が定期的に行われている。受診は、本人及び家族の意向を尊重し希望した医師の診療が受けられるように支援している。診療時は、事業所から文書や口頭で利用者の情報を提供し適切な医療が受けられるように務めている。	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様の変化があれば看護師、管理者に報告し、素早く対応できる様に連携を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者様が入院された時は、病院関係者、ご家族様、施設と報告や相談をこまめに行い、安心して治療して頂ける様に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に重度化について施設が出来る事を説明、ご理解頂いた上で署名をもらっている。終末期に入ると今後の方針を主治医と管理者、ご家族様と話し合い共有している。</p>	<p>利用開始時に看取りに関する指針を説明しているが、利用者や家族の意向に変化があることから、人生の最終段階を迎える時期には、改めて意向を確認し主治医と今後の方針を検討している。利用者が息を引き取るまで付き添うことができるように緊急時は職員を加配して支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員がいつでも見られる様にマニュアル化して綴じている。随時ではないがミーティング等で再確認し、迅速に対応できる様に努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防火訓練は実施している。 高陽町倉掛…防火訓練研修 事業所…消防署の方に来て頂き指導を受けている。町内会で地域の協力が得られる様に声掛けをしている。 避難場所：尾長東2丁目片河集会所</p>	<p>避難救出訓練は、日勤帯の火災を想定し、利用者参加で行い、毎回出火場所を変え、避難経路を確認している。町内会で防火訓練実施の告知と参加の呼びかけを行っている。地域に居住する利用者家族も有事の際は協力すると申し出があり、協力を得られるように働きかけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の入居されるまでの生活歴をしっかりと把握した上でお一人おひとりの自尊心に配慮する様に心掛けている。	利用者一人ひとりの生活スタイルを尊重し、利用開始後も自宅と同じ暮らしが出来るよう、普通に過ごしてもらうことを大切にしている。人生の先輩として利用者の話を傾聴し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様がいつでも思いや希望が表せる様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	常にご利用者様に目配り、気配りし、自分のペースで生活できる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時にはできる限りご自分で整容して頂いている。散髪される際はご利用者様の好みを聞き実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様のお好みの物を添えてお出ししている。食器洗いやお盆拭き等は職員と一緒に楽しんでされている。	利用者の食の好みを反映した献立を毎週水曜日に提供し、行事食で季節を感じられるように工夫している。誕生会のケーキは職員と利用者がデコレーションを施している。	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス, 水分量が一日を通じて確保できるよう, 一人ひとりの状態や力, 習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎月体重を計り増減を記録し, 変化があれば職員間で話し合い対応している。水分量、食事量を毎回記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後声掛けにてご本人様が口腔ケアをされている。困難なご利用者様は職員が介助している。口腔内に異常が見られれば歯科往診時に報告している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習慣を活かして, トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>できるだけトイレで排泄して頂く様に心掛けている。排便の訴えがある時は, 特にトイレに座って頂いている。オムツは最終手段であるとの考えで, 職員間で統一した対応で支援している。</p>	<p>利用者がトイレに座り自然な腹圧をかけることで, まず排便の自立を支援し, 排尿の自立を段階的に検討している。利用者の様子の変化に気付き, タイミングよく対応することで排泄の失敗を減らすように工夫している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>薬の服用にだけ頼らず, 体を動かしたり, 水分をしっかりと飲んで頂いている。排便困難なご利用者様は, 便コントロールをしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように, 職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに, 個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回提供しているが, 状況に応じて入浴される事もある。入浴の際は入浴剤を入れている。又は入浴後は保湿クリームを使用し, 皮膚の乾燥を防いでいる。</p>	<p>リフト浴槽を設置していることで, 浴槽に浸かることが難しかった利用者も湯につかることができるようになった。入浴中は職員と利用者が一緒に歌を唄うなど, 入浴を楽しむことができるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご利用者様お一人おひとりの生活歴を把握し、その人らしく生活できる様に支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>ご利用者様が服用されている薬の用法を理解した上で服薬して頂いている。服薬して頂く際は、日付、名前を必ず確認して服薬して頂く様に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴を職員間で共有し、できる事を楽しみながらして頂く様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様の希望にて入居前の自宅に行かれている。又、ご家族様同行にて買い物に出掛けたりされている。</p>	<p>買い物や家族が入院している病院へのお見舞い、墓参り等は家族と協力して利用者の外出を支援している。気候が良い時や、行事のない日曜日などは散歩に出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>職員が代わりにご利用者様の希望の品物を買って来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	暑中ハガキと年賀状は毎年ご利用様が書いてご家族様に出している。ご家族様から電話でご利用様と話したい、又は近況を知りたい等の要望があれば、その都度対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	四季に応じて壁画をご利用様と作り、季節感を感じて頂いている。共有のスペースでは、ご利用様が気持ちよく使用して頂ける様、清潔感を保つ様に努めている。	共有スペースはカーテンで明るさを調整している。利用者と職員と一緒に作製した作品を飾り、季節を感じられるように工夫している。濡らしたバスタオルで加湿し、空気清浄機を設置し、職員が毎日清掃し居心地よく過ごせるように努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室でテレビを見て過ごされる方、居室で編み物、パズルをされている方、ダイニングでご利用様同士で会話をされている方と、お一人おひとりの思いで過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使用されていた品物を居室に飾って頂き、落ち着いて生活して頂ける様に支援している。	居室には、利用者の手編みの作品やジグソーパズル、ぬいぐるみや家族と撮影した記念写真を飾っている。使い慣れた掃除用具を使って利用者自身が部屋の掃除を行い、個人の好みや能力を活かしてプライベートな空間を造っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お一人おひとりのできる事、何がしたいか等を見聞きし、それを元に職員間で共有し、安全な環境で生活できる様支援している。		

V アウトカム項目(GHかぐや姫 ①) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「相手本位の心」が事業所の理念である事を職員全員が理解し、それに沿って何をすべきかミーティング等で取り上げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	地域住民との交流を深めるためもあり、週一回施設回りを掃除し、地域の方からも声をかけて頂いている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍も落ち着いてきたため、町内会長へ連絡し町内会に参加する事を伝えている。回覧板は毎日届けて頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は現在再開しており、地域包括からも参加して頂き報告やご意見を頂き、改善できる事は職員間で話し合い、取り入れている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	生活保護に関する問い合わせが多くあり、確認のため市長の生活課に連絡を取っている。		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>一名ご利用者様の拘束を行っている。ご自分の服等、口にあたる物すべてを口に入れられるため、家族様に説明し同意書を頂いている。定期的に委員会を開き、その都度議事録を作成している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のご自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待に関する研修は社内で年に2～3回はあります。職員が参加しミーティングで報告し共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>入居される際の契約に成年後見人を立てておられる事があり、後見人制度を学ぶ事も必要のため、ミーティング等で話し合う様に心掛けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、ご家族様が不安や疑問に思っている事があれば説明し、理解と納得して頂いた上で契約して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議に参加された際、貴重なご意見をご家族様に頂いた内容は、職員で共有し業務に活かした事もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に1度のミーティングや年2回の個人面談の際に、職員の意見を聞く機会がある。それ以外にも随時時間を設けて、聞ける様な関係性を築いている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	随時個々の思いや考えを聞いて働きやすい環境に近づけるように努めている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	全職員がシフトの状況に応じて、社内研修に参加した後、ミーティング時に内容報告している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	電話やファックスで入居に関する情報も含めて交流を深めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	入居されて間もないご利用者様は、不安と緊張感でいっぱいのため、職員はしっかりと傾聴できる様に努めていく。		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用様が安心して入居できる様に、ご家族様からの要望、ご本人からの希望に答えられる様に努めていく。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族様、ご本人様が何を希望されているか、職員、看護師、ケアマネと話し合い、できる事は実施していく。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用様と職員と一緒に生活しているとの思いを持ち、笑いの絶えない関係性を築いていく。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様とは良好な関係であるために、面会に来られた時は笑顔で挨拶し、又は近況報告も定期的にご連絡して、ご家族様との絆を深める様に努める。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>働いていた時の同僚の方やご近所の方が面会に来られ、懐かしんで話をされている関係性が途切れない様に支援に努めていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	デイルームでご利用者様が一緒に洗濯物をたたみながら、会話をされる時には、笑い声も聞こえたりと、その人その人にできる事をして頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他の施設へ行かれたご利用者様の状況を聞いたり、又は面会に行ったりしている時には、ご家族様から連絡を頂いたりもある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様から希望や意向を生活している中で、さりげなく職員に発言して頂ける様な関係性を築いていく。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活歴を把握し職員間で共有する。できるだけ生活環境を変えず、その人らしく生活して頂く様に努める。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様の状態は毎日同じではない事を常に思い、気が付があれば共有しすばやく行動にうつしていく。		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご利用者様の状態も踏まえ、ご家族様の思いや意向を聞き、看護師、ケアマネ、管理者、担当で介護計画を作成する。定期的にモニタリングし見直していく。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ご利用者様の変化に気付いたら職員間で共有し、対応や介護計画書の見直しを実施する。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度事に生まれたニーズは、その都度話し合い対応できる体制作りを努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の方との挨拶は常に心掛けています。週1回ではあるが町内を掃除し、声掛けする様に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の意向で入居前の病院を受診を希望される際は事業所の主治医に報告し、意向に添う様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ご利用者様の変化があれば看護師、管理者に報告し、素早く対応できる様に連携を取っていく。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院された時は、病院関係者、ご家族様、施設と報告や相談を細目に行い、安心して治療して頂ける様に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居契約時に重度化について施設が出来る事を説明、ご理解頂いた上で署名をもらっている。終末期に入ると今後の方針を主治医と管理者、ご家族様と話し合い共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職員がいつでも見れる様にマニュアル化して綴じている。随時ではないがミーティング等で再確認し、迅速に対応できる様に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の防火訓練は実施している。 高陽町倉掛…防火訓練研修 事業所…消防署の方に来て頂き指導を受ける。町内会で地域の協力が得られる様に声掛けしている。 避難場所：尾長東2丁目片河集会所		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の入居されるまでの生活歴をしっかりと把握した上でお一人お一人の自尊心に配慮する様に心掛ける。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様がいつでも思いや希望が表せる様に支援していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	常にご利用者様に目配り、気配りし、自分のペースで生活できる様支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時にはできる限りご自分で整容して頂いている。散髪される際はご利用者様の好みを聞き実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様のお好みの物を添えてお出ししている。食器洗いやお盆拭き等は職員と一緒に楽しんでされている。		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス, 水分量が一 日を通じて確保できるよう, 一人ひと りの状態や力, 習慣に応じた支援をし ている。</p>	<p>毎身体重を計り増減を記録し, 変化があ れば職員間で話し合い対応している。 水分量、食事量を毎回記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう, 毎食後, 一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後声掛けにてご本人様が口腔ケアを されている。困難なご利用者様は職員が 介助している。口腔内に異常が見られれ ば歯科往診時に報告している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし, 一人ひとりの力や排泄のパターン, 習 慣を活かして, トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>できるだけトイレで排泄して頂く様に心 掛けている。排便の訴えがある時は、特 にトイレに座って頂いている。オムツは 最終手段であるとの考えで、職員間で統 一した対応で支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲 食物の工夫や運動への働きかけ等, 個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>薬の服用にだけ頼らず, 体を動かしたり 、水分をしっかり飲んで頂いている。 排便困難なご利用者様は、便コントロ ールをしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように, 職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に, 個々に応じた入浴の支援をしてい る。</p>	<p>週2回提供しているが, 状況に応じて入 浴される事もある。入浴の際は入浴剤を 入れている。又は入浴後は保湿クリーム を使用し, 皮膚の乾燥を防いでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご利用者様お一人お一人の生活歴を把握し、その人らしく生活できる様に支援していく。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>ご利用者様が服用されている薬の用法を理解した上で服薬して頂いている。服薬して頂く際は、日付、名前を必ず確認して服薬して頂く様に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居前の生活歴を職員間で共有し、できる事を楽しみながら頂く様に支援していく。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご利用者様の希望にて入居前の自宅に行かれている。又、ご家族様同行にて買い物に出掛けたりされている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>職員が代わりにご利用者様の希望の品物を買って来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(GHかぐや姫 ②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	暑中ハガキと年賀状は毎年ご利用者様に書いてご家族様に出している。ご家族様から電話でご利用者様と話したい、又は近況を知りたい等の要望があれば、その都度対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	四季に応じて壁画をご利用者様と作り、季節感を感じて頂いている。共有のスペースにいただいたは、ご利用者様が気持ちよく使用して頂ける様、清潔感を保つ様に努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室でテレビを見て過ごされる方、居室で編み物、パズルをされている方、ダイニングでご利用者様同士で会話をされている方と、お一人お一人の思いで過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居前に使用されていた品物を居室に飾って頂き、落ち着いて生活して頂ける様に支援する。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	お一人お一人のできる事、何がしたいか等を見聞きし、それを元に職員間で共有し、安全な環境で生活できる様支援する。		

V アウトカム項目(GHかぐや姫 ②) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 令和6年 2月 23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策として年2回の防火訓練は実施しているが、施設での防火訓練は十分とは言えない。	日中だけではなく夜間の災害にも対応出来る様に訓練していく。	マニュアルを作成し職員間で共有していく。3ヶ月に一度のペースで話し合い再確認する。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。